平成24年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月４日

上 場 会 社 名　古河スカイ株式会社　　上場取引所　東証第一部
コ ー ド 番 号　５７４１　　ＵＲＬ　http://www.furukawa-sky.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）吉原　正照
問合せ先責任者　（役職名）取締役経理部長　（氏名）長谷川　久　　ＴＥＬ　(03)5295-3800(代)

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　　配当支払開始予定日　平成23年12月２日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

１．平成24年３月期第２四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第２四半期	100,802	△4.9	5,105	△28.4	4,830	△28.6	2,780	△48.8
23年３月期第２四半期	105,997	24.1	7,132	－	6,766	－	5,434	－

（注）包括利益　24年３月月期第２四半期　1,509百万円（△68.0%）　23年３月期第２四半期4,714百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第２四半期	12.24	－
23年３月期第２四半期	23.93	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第２四半期	217,787	70,704	32.2
23年３月期	217,878	69,907	31.8

（参考）　自己資本　24年３月期第２四半期　70,138百万円　23年３月期　69,362百万円

２．配当の状況

	１株当たり配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	－	3.00	－	3.00	6.00
24年３月期	－	3.00			
24年３月期(予想)			－	3.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　　期	194,300	△6.2	6,400	△48.1	6,200	△46.9	4,000	△66.6	17.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

４．その他

(1) 当四半期連結累計期間中における重要な子会社の異動　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①	会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 無
②	①以外の会計方針の変更	： 無
③	会計上の見積りの変更	： 無
④	修正再表示	： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

①	期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年３月期２Ｑ	227,100,000株	23年３月期	227,100,000株
②	期末自己株式数	24年３月期２Ｑ	12,273株	23年３月期	12,273株
③	期中平均株式数(四半期累計)	24年３月期２Ｑ	227,087,727株	23年３月期２Ｑ	227,087,893株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・２

(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・２
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・２
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・３

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・３
(2) 追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
(3) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更・・・・・・・・・・３

３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・４

(1) 四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・４
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・６
(3) 継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・８
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・８
(5) 重要な後発事象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、第１四半期においては、東日本大震災により、自動車を中心に多くの産業が影響を受けました。第２四半期は、国内においては、震災関係での企業活動は回復に向かったものの夏季電力制限などによる生産の非効率化などの影響は残りました。一方、海外においては、米国債の格下げ、ＥＵでのギリシア債務返済問題等の金融不安を契機に、先進国では株安、ドル安、ユーロ安を伴い景気が悪化し、新興国ではインフレ懸念による金利上昇等を受け成長が鈍化いたしました。これらは日本経済にも大きな影響を及ぼしつつあります。

当社グループが属するアルミニウム圧延業の需要は、主力の缶材では、震災罹災分の補充生産等に伴う増加はあったものの、東日本大震災により自動車関連や印刷板等の需要が減少したこと、並びに海外市場向けの電子機器分野、各種輸出が、世界的な景気悪化を受けて減少したことから、圧延需要全体では前年同期比５％の減少となりました。

当社売上数量もアルミニウム圧延需要全体と傾向は概ね同じでありました。需要分野別にみると、飲料用缶材は前年同期比２％の増加となりましたが、８月以降は実需の低迷を反映して急速に減少しております。その他の分野では、自動車関連や印刷板、液晶・半導体製造装置等向け厚板などを含む一般内需品は前年同期比11％の減少となりました。とりわけ卸売り・小売り製品については、第３四半期以降の地金価格低下を見越した買い控え等から第２四半期の需要の急落がありました。また、輸出も円高等の影響で前年同期比27％の減少となり、当社売上数量全体では前年同期比8.5%の減少となりました。

それらの結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は100,802百万円（前年同期比5,194百万円の減少）、営業利益は5,105百万円（前年同期比2,027百万円の減少）、経常利益は4,830百万円（前年同期比1,936百万円の減少）、四半期純利益は2,780百万円（前年同期比2,654百万円の減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は217,787百万円（前連結会計年度末比91百万円の減少）となりました。このうち、流動資産合計については106,639百万円であり、前連結会計年度末より6,144百万円減少しております。これは、主に現先等の余剰資金を株式取得に充当したこと等により短期貸付金が7,598百万円減少し、未収入金が991百万円減少した一方で、仕掛品が2,224百万円増加したこと等によるものです。また、固定資産合計については111,149百万円であり、前連結会計年度末より6,053百万円増加となりました。これは、主に北米のアルミニウム圧延事業会社の株式取得等により投資有価証券が9,606百万円増加した一方で、有形固定資産合計が3,160百万円減少したことによるものです。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は147,084百万円（前連結会計年度末比887百万円の減少）となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が2,316百万円減少、１年内返済予定の長期借入金が1,382百万円減少、退職給付引当金が681百万円減少した一方で、電子記録債務が2,563百万円増加、流動負債のその他が798百万円増加したこと等によるものです。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は70,704百万円（前連結会計年度末比796百万円の増加）となりました。これは、主に繰延ヘッジ損益が771百万円減少、為替換算調整勘定が554百万円減少した一方で、第２

四半期連結累計期間における四半期純利益が2,780百万円計上されたこと等により、利益剰余金が2,099百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第１四半期までは順調に業績は推移したものの、夏場の電力使用規制に備えた前倒し需要の反動や、世界的な経済状況の停滞、悪化を踏まえた実需の低迷に伴う需要家の在庫調整の影響等により、第２四半期に入り売上高が減少しました。また、史上最高水準にある円相場や、タイの洪水によるサプライチェーンの分断も含めた企業活動の停滞の影響、依然解決されないＥＵ域内の債務デフォルト不安など、現在も経済の先行きが不透明で下期に回復する見込みは低いと予想されることから、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表予想を下回る見込みといたしました。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行なわれる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

(3) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

Arrow Aluminum Holding Inc.（平成23年10月よりTri-Arrows Aluminum Holding Inc.に社名変更）について、平成23年８月のTri-Arrows Aluminum Inc.株式取得により重要性が増したため、Arrow Aluminum Holding Inc.及びTri-Arrows Aluminum Inc.を当第２四半期連結会計期間より持分法の適用範囲に含めております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,747	4,135
受取手形及び売掛金	58,159	58,400
商品及び製品	4,711	4,926
仕掛品	8,982	11,206
原材料及び貯蔵品	11,521	11,527
繰延税金資産	1,366	1,789
短期貸付金	17,598	10,000
未収入金	5,168	4,177
その他	647	607
貸倒引当金	△117	△130
流動資産合計	112,782	106,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,494	20,824
機械装置及び運搬具（純額）	28,012	24,712
土地	36,393	36,392
建設仮勘定	1,119	1,916
その他（純額）	2,398	2,413
有形固定資産合計	89,417	86,257
無形固定資産		
のれん	640	542
ソフトウエア	1,145	1,079
その他	105	105
無形固定資産合計	1,890	1,727
投資その他の資産		
投資有価証券	4,777	14,383
長期前払費用	246	230
繰延税金資産	4,538	4,355
その他	4,406	4,360
貸倒引当金	△179	△164
投資その他の資産合計	13,789	23,165
固定資産合計	105,096	111,149
資産合計	217,878	217,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,217	38,901
電子記録債務	751	3,314
短期借入金	27,375	27,466
1年内償還予定の社債	270	260
1年内返済予定の長期借入金	3,219	1,837
未払金	4,934	5,082
未払費用	8,085	8,359
未払法人税等	1,196	1,357
未払消費税等	493	295
その他	628	1,426
流動負債合計	88,169	88,296
固定負債		
社債	186	332
長期借入金	45,808	45,490
退職給付引当金	10,948	10,266
役員退職慰労引当金	129	110
繰延税金負債	50	44
環境対策引当金	198	188
事業構造改善引当金	755	754
その他	1,728	1,603
固定負債合計	59,802	58,788
負債合計	147,971	147,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,528	16,528
資本剰余金	35,184	35,184
利益剰余金	18,284	20,384
自己株式	△2	△2
株主資本合計	69,995	72,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193	194
繰延ヘッジ損益	157	△614
為替換算調整勘定	△982	△1,536
その他の包括利益累計額合計	△633	△1,956
少数株主持分	546	566
純資産合計	69,907	70,704
負債純資産合計	217,878	217,787

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	105,997	100,802
売上原価	90,455	87,322
売上総利益	15,541	13,480
販売費及び一般管理費	8,409	8,375
営業利益	7,132	5,105
営業外収益		
持分法による投資利益	249	171
その他	214	211
営業外収益合計	463	382
営業外費用		
支払利息	576	551
その他	253	106
営業外費用合計	829	657
経常利益	6,766	4,830
特別利益		
固定資産売却益	7	4
貸倒引当金戻入額	39	－
その他	12	0
特別利益合計	58	4
特別損失		
固定資産除却損	49	90
投資有価証券評価損	12	186
減損損失	226	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	710	－
その他	34	28
特別損失合計	1,030	304
税金等調整前四半期純利益	5,794	4,530
法人税、住民税及び事業税	344	1,378
法人税等調整額	△37	316
法人税等合計	307	1,694
少数株主損益調整前四半期純利益	5,487	2,836
少数株主利益	53	56
四半期純利益	5,434	2,780

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	5,487	2,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	1
繰延ヘッジ損益	△445	△688
為替換算調整勘定	△105	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	△164	△622
その他の包括利益合計	△773	△1,327
四半期包括利益	4,714	1,509
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,677	1,457
少数株主に係る四半期包括利益	36	53

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

当社は、タイ国の東部にあるラヨン県アマタシティ工業団地内の用地購入に関する意向書に調印し、100%出資によるアルミニウム板圧延工場を建設することを平成23年11月４日開催の取締役会にて決定いたしました。

飲料缶、自動車熱交換器、電気部品など、東南アジア市場で成長が期待されるアルミニウム板材の製造・販売を目的とするもので、当社の国内工場から素条を供給して、日光工場の上工程休止後に遊休となる冷間圧延機を活用し、冷間圧延以降の製造を行うことからはじめます（第一期）。その後、鋳造工程からの一貫生産にすみやかに移行し、さらに生産能力を拡大する計画です（第二期）。

第一期の生産能力は年約６万トン、工場建設費は約130億円を予定しており、2012年３月頃より建設を開始し、2014年１月頃の営業運転開始を目指します。

なお工場建設資金については、自己資金を中心に必要に応じて金融機関などから調達する予定です。

＜新工場の概要＞

建 設 場 所：タイ王国ラヨン県アマタシティ工業団地内
生 産 能 力：年約６万トン（第一期）
工場建設費：約130億円（第一期）
建 設 開 始：2012年３月予定（第一期）
操 業 開 始：2014年１月予定（第一期）
事 業 内 容：アルミニウム板圧延品の製造・販売